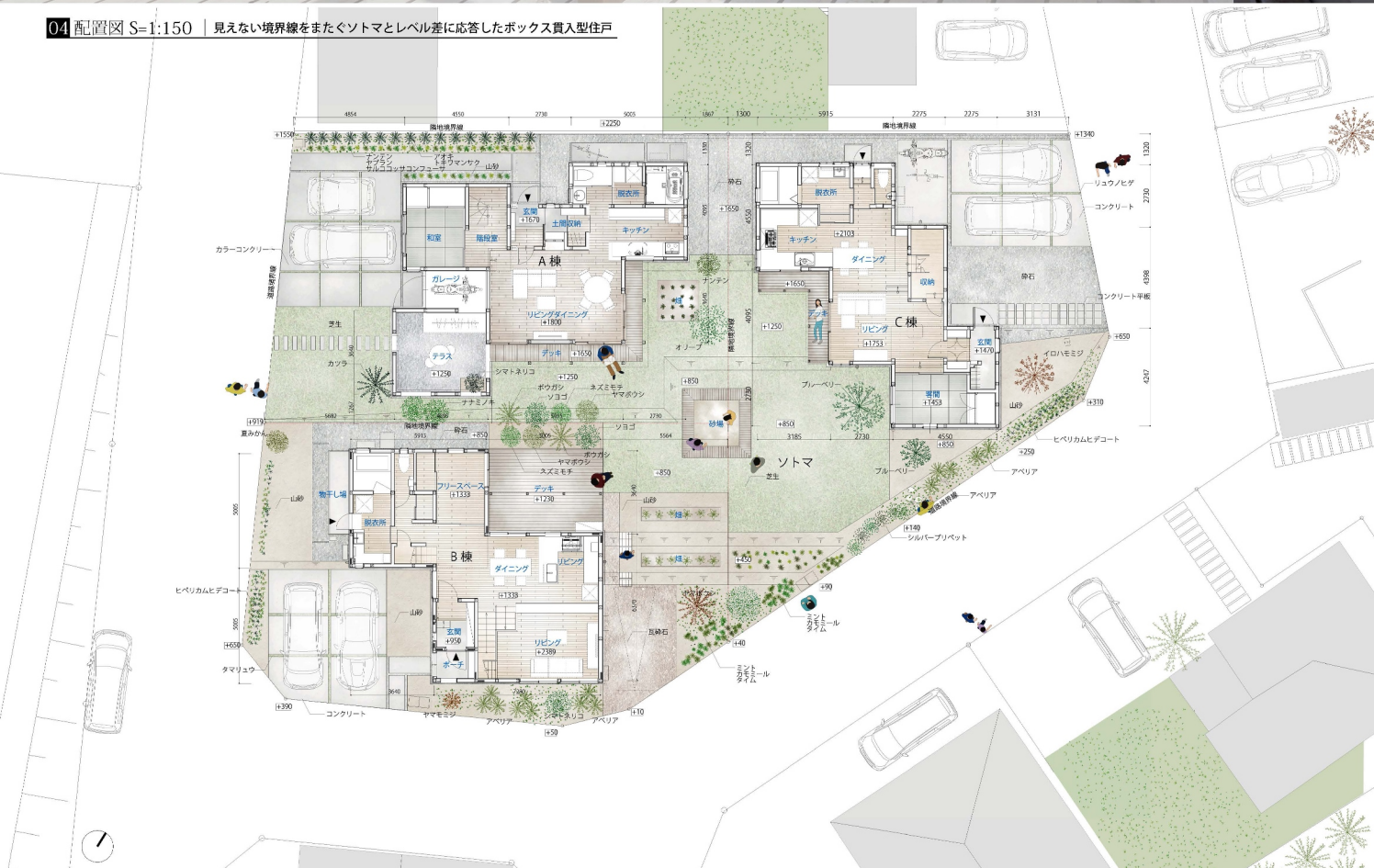


ソトマで育てる、ソトマでつながる
「未来の風景をつくる」プロジェクト

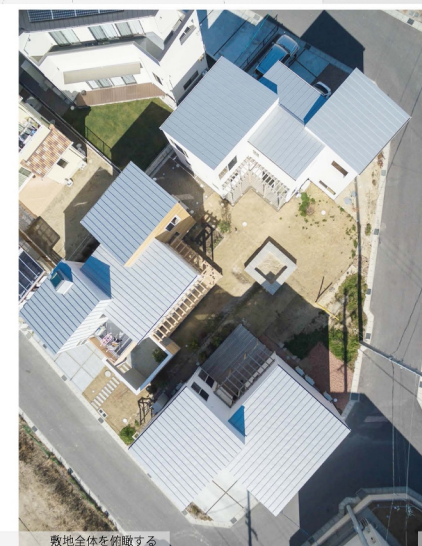


B棟からソトマを眺める。正面にC棟、左にA棟が見える。緩衝装置としてのパーゴラとデッキ、掃き出し窓は各住戸の共通仕様とした。中央のベンチ・砂場は設計段階のワークショップを通して決められた。砂場の中央を敷地境界線が通る。

04 配置図 S=1:150 | 見えない境界線をまたぐソトマとレベル差に回答したボックス貫入型住戸



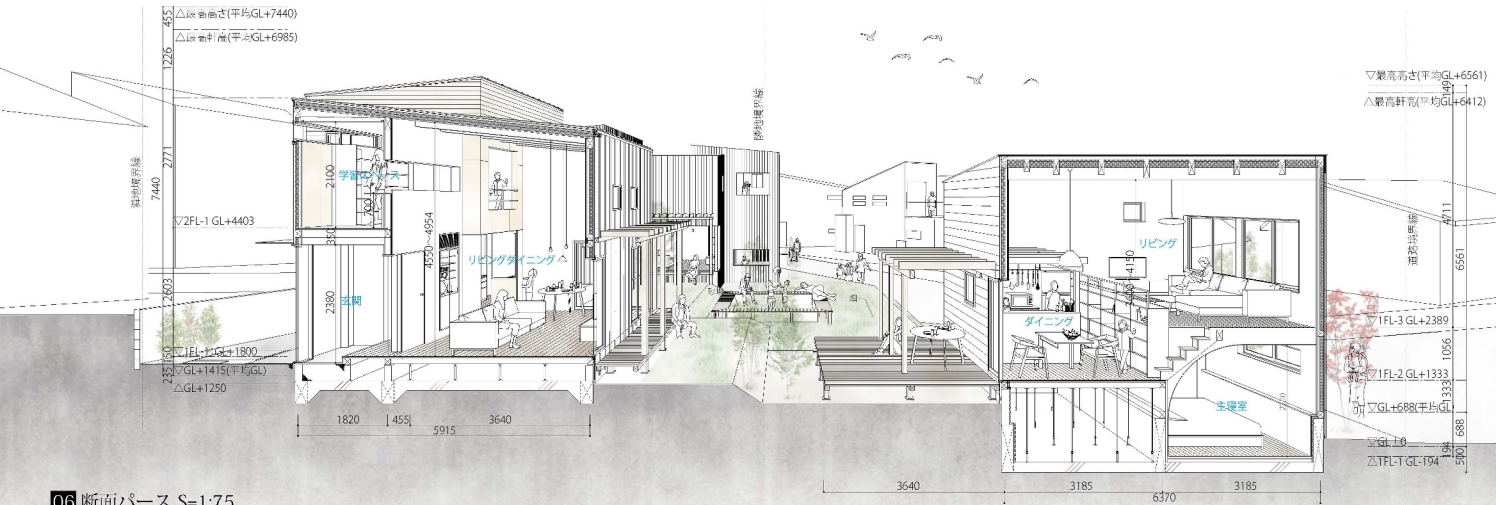
3棟の住宅による囲まれ感と、南東側の道路に対して法面に外部階段が設置される開放的な配置構成。中央には共用の砂場とベンチが設けられ、住民らの交流の場となる。「ソトマ」に対して居間やダイニング、キッチンが配置され、「ソトマ」での活動が見える。



敷地全体を俯瞰する



道路からの全景 | 近隣の住宅地に開かれたソトマ



06 断面パース S=1:75

01 テーマ | 新興住宅地における境界と関係性のデザイン

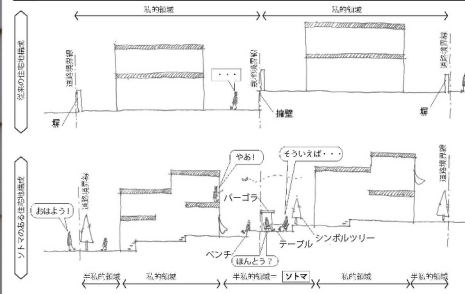


郊外の戸建て住宅地における、境界線を跨いだコミュニケーションの場「ソトマ」を3棟で緩やかに囲む配置構成をもつプロジェクト。名古屋近郊の日進市は、豊田市との間に位置し、70年代以降、人口が増加し続けている。都市縁辺部に残された貴重な里山が切り開かれ、近い世代のみが入居する住宅地は、将来の衰退も予測される。それを乗り越える仕掛けが「ソトマ」、つまり外の居間である。ひな増造成されていた敷地を、レベル差0.4mで分割し、平面的・断面的にボックスをずらしながら一室状の空間をつくる構成とした。敷地境界線が視覚的には認識されず、住民たちが行き交う風景が現れた。

広域図 1:2000



02 コンセプトダイアグラム | 半私的・半公的空間としての共有庭



建物概要

所在地 日進市 主要用途 専用住宅

用途地域 第1種低層住居専用地域

A棟

敷地面積 247.56㎡

建築面積 71.87㎡ (29.04%)

延床面積 120.14㎡ (48.52%)

1階 69.38㎡ 2階 50.75㎡

ロフト階 8.2㎡ (面積不算入)

B棟

敷地面積 253.33㎡

建築面積 72.87㎡ (28.77%)

延床面積 126.24㎡ (49.84%)

1階 72.87㎡ 2階 35.99㎡

GL-200 17.39㎡

C棟

敷地面積 266.05㎡

建築面積 67.42㎡ (25.34%)

延床面積 121.64㎡ (45.72%)

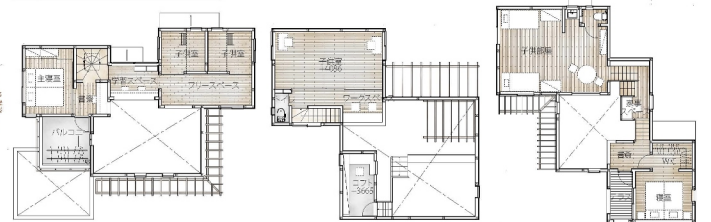
1階 67.52㎡ 1.5階 5.3㎡

2階 48.92㎡

03 設計プロセス | ワークショップを通じた入居前の合意形成



05 二階平面図 S=1:200



A棟 | 4つのボックスから構成される。南棟は外部テラスで、壁のみで構成される。中央棟に東、西棟が貫入し、2階の開口を介して接続する。開口は上下階のコミュニケーションのきっかけとなる。ラワン合板現仕上、塗り壁、和紙障子など、質感の高い、ムラ感のある素材を用いることで、光の陰影を映しだし、身体感覚を喚起する。

B棟 | 2つのボックスから構成される。南棟は中二階に持ち上げられた居間、北側テラスに接したダイニング、パーゴラを架けたキッチンから成る。空間として一体的でありながら、異なるレベル差により分節された感覚も得られる。北側のテラスが居心地の良い日陰空間となる。

C棟 | 3つのボックスから構成される。南側に多くの外壁面を作り出し、全室前面採光ができる。敷地レベルから生まれた7つの床レベルを内包する。B・南棟の2階壁面をラワン合板仕上として、吹抜けの仕上と対比させた。単純な構成で多様な居場所のある空間となる。



A棟リビングダイニングに貫入したボックスに開口が設けられている



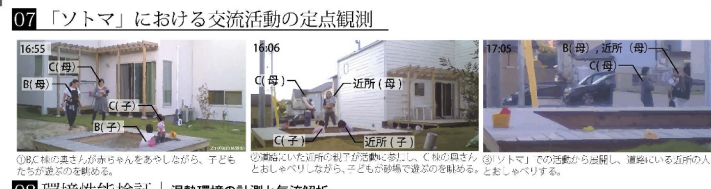
C棟キッチンからソトマを見る



C棟家事スペースからソトマを見下ろす



B棟リビングよりソトマを見る

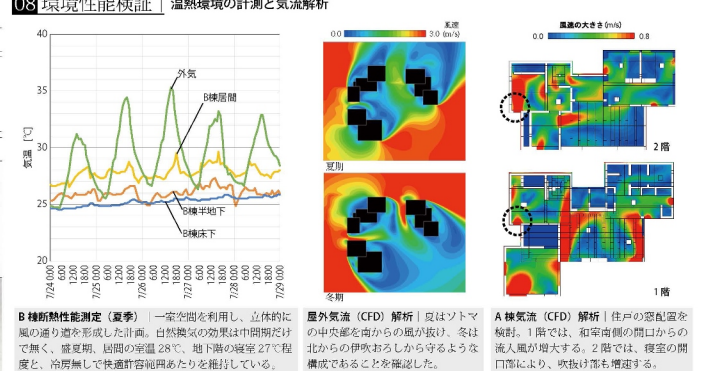


C棟客間よりソトマと居間、ダイニングを見る

07 「ソトマ」における交流活動の定点観測



08 環境性能検証 | 温熱環境の計測と気流解析



B棟断熱性能測定 (夏季) | 一定気密性を利用し、立体的に風の通り道を形成した計画。自然換気の効果は中間階だけで無く、暑夏期、昼間の室温28℃、地下階の室温27℃程度と、冷房無しで快適空間範囲あたりを維持している。

屋外気流 (CFD) 解析 | 夏はソトマの中央部を向かう風の吹き抜け。冬は北からの伊吹からの風が吹き抜けで確認された。

A棟気流 (CFD) 解析 | 住戸の窓型を解析。1階では、和室側の開口からの流入風が増大する。2階では、寝室の開口部により、吹抜け部を促進する。